

# 森林やまがた

No.188

2020.7

フォレスト  
サポーターズ



美しい森林づくり推進国民運動

山形県森林協会は、『美しい森林づくり推進国民運動』を推進しています。



## 目次

森林環境緊急保全対策事業……………	2	次代を担う若者による意見交換会の開催……………	10
令和2年度森林整備関係事業		蔵王温泉木の街プロジェクト……………	10
（国庫補助事業）の概要……………	3	最上地域の平成30年災からの復興……………	11
森林環境譲与税の見直しについて……………	4	そうだ、「源流の森」に行ってみよう！……………	12
「意欲と能力のある林業経営者」等の		「里山ソムリエ」の森……………	12
公募・公表について……………	5	山形県県産認証材「やまがたの木」	
令和2年度山形県みどり豊かな森林環境づくり		普及・利用促進事業……………	13
推進事業実施の際の留意事項について……………	5	森林管理道念珠関線河内橋完成……………	13
みどりのページ		センタートピックス	
緑の募金感謝状の贈呈について……………	6	森林施業における自走式草刈機使用の可能性……………	14
令和2年度緑化推進事業交付決定一覧表……………	6	丸太価格・製材品価格の推移……………	14
緑の募金にご協力いただいた企業・団体……………	7	山形県の古木・名木 公共木造施設……………	15
フォレスト通信 農林大学校林業経営学科から		山形県森林協会会長交代のおしらせ……………	16
林業への思いを胸にー5期生14人が入校……………	8		
森の人紹介			
鈴木 淳さん・岩山 武司さん……………	9		

# 森林環境緊急保全対策事業

## 「やまがた緑環境税による森林整備」

### ◎森林環境緊急保全対策事業

やまがた緑環境税を活用した森林整備は、平成19年度から実施しており、平成28年度までの10年間の実績は約1万1800ha（計画面積1万1600ha）となっています。平成27・28年度に行った本事業の評価検証の結果、平成28年時点で未だ荒廃のおそれのある森林が約12万ha残されていると推定されたことから、平成29年度から令和8年度までの10年間の目標を、前10年間と同じ1万1600haに設定し、引き続き森林整備を実施しております。

令和元年度の実施状況について、

①荒廃森林緊急整備事業、②森林資源再生事業、③森林資源循環利用促進事業、④広葉樹林健全化促進事業の4つの事業ごとに取組み実績をお知らせします。

### ① 荒廃森林緊急整備事業

本事業では、荒廃のおそれのある人工林の間伐のほか、活力が低下している里山林の森林病害虫などによる被害木伐採等の森林整備を行って

おります。令和元年度の実施面積は1107haとなり、その内訳は、荒廃のおそれのある人工林の森林整備が644ha、病害虫で荒廃した里山林再生のための森林整備が463haとなっています。

### ② 森林資源再生事業

本事業では、森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的発揮のために、再造林に要する経費の一部を支援しています。令和元年度は、国庫補助事業に嵩上げし、森林所有者の負担なく再造林できる仕組みとし、森林経営計画策定区域内で実施された再造林40haに対し、支援を行いました。また、国庫補助事業の補助要件外の林地0・05haに対し、再造林に必要な苗木購入経費の全額の支援を行いました。

さらに、低コスト再造林技術実証事業では、低密度植栽を行った4試験地にて、下刈りの作業人工等のほか、植栽木の生存率、成長量（苗木高、根元直径）、被害状況（気象害等）等について調査を実施しました。

### ③ 森林資源循環利用促進事業

本事業では、人工林における間伐材等の低質材を集成材の材料やペレット等のバイオマス燃料等として利用するための搬出等を支援し、環境保全に配慮した木材の利用促進を図ることとしており、令和元年度は、低質材約4万2000立方メートルに対し支援を行いました。

### ④ 広葉樹林健全化促進事業

本事業では、ナラ林等を伐採し健全な広葉樹林に更新するため、材の搬出及び作業道設置を支援しており、令和元年度は搬出された約1550立方メートルに支援を行いました。

### ◎令和2年度の森林整備計画

やまがた緑環境税による森林整備の中核となる荒廃森林緊急整備事業は、目標である1160haの森林整備を行うこととしています。

また、森林資源再生事業は、国庫補助事業への嵩上げ補助のほか、国庫補助事業の補助要件外となっている小面積の林地で再造林を行った場合、苗木購入経費の全額支援も継続しますので、是非ご活用ください。さらに、低コスト再造林技術実証事業について、引き続き下刈り回数

の低減の検証を行ってまいります。今後とも、やまがた緑環境税を活用した森林整備について、広く周知を図り、着実に進めてまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。（県森林ノミクス推進課）



荒廃森林緊急整備事業により整備を行った森林(朝日町)の整備前(左)及び整備後(右)

# 令和2年度森林整備関係事業

## (国庫補助事業)の概要について

### ●はじめに

近年、県内各地に大型木材加工施設や木質バイオマス発電施設の整備が進み、県産木材の需要が増大していることから、安定的な原木供給が必要となっております。

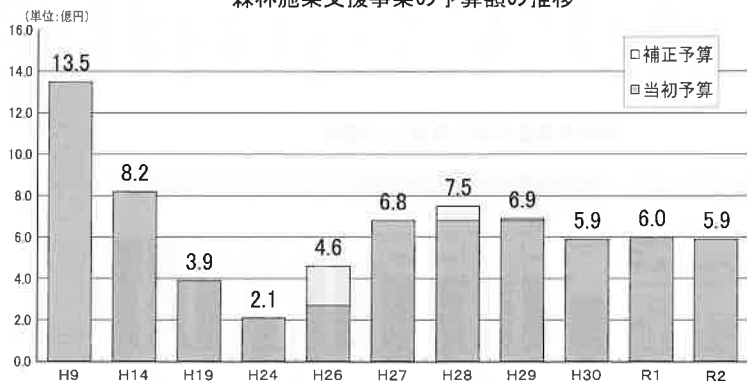
このため県では、森林施業支援事業や合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策事業などの国庫補助事業を活用し、再造林や保育、間伐材生産等に対する支援を行っています。

このたび、令和2年度の森林整備関係の各事業(国庫補助事業)の概要を整理しましたので、お知らせします。

### ●県予算の状況について

林野公共である森林施業支援事業の県予算額は、前年度とほぼ同額の約5億9千万円(うち令和元年度の国の補正予算4百万円含む)となっております。また、非公共の林業・木材産業成長産業化促進対策事業については約8千万円、令和元年度の国の補正予算に伴い措置された合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策事業については約1億1千万円となっております。

森林施業支援事業の予算額の推移



### ●森林施業支援事業について

本事業は、森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ計画的に行う再造林や下刈り等の保育、間伐等の森林施業とこれと一体となった森林作業道の開設等への支援を行うものです。

### ●林業・木材産業成長産業化促進対策事業について

本事業は、意欲と能力のある林業経営者に森林の経営・管理を集積・集約化するとともに、川上から川下までの連携による生産・加工・流通コストの一体的な削減を図る取組みへの支援を目的としています。

メニューの一つである間伐材の生産については、路網等の生産基盤を重点的に整備する「生産基盤強化区域」内で実施することで、間伐材生産のコスト削減と川下への木材の安定供給を図ることとしています。

### ●合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策事業について

本事業は、国際的競争力強化に向け、体質強化計画の事業対象区域において、幹線となる路網整備と搬出間伐を実施し、合板・製材・集成材工場に対して低コストで安定的に原木を供給することを目的としています。

### ●おわりに

県では、安定的に原木を供給するため、計画的な主伐と間伐を進めるとともに、森林資源の循環利用に向け伐採後の再造林の着実な実施を推進していくこととしていますので、積極的に取り組んで頂くようお願いいたします。(県森林ノミクス推進課)

「木の家」のぬくもりを最先端の技術で住まいの品質と安全をサポートします。

# 森林環境譲与税の見直しについて

## はじめに

森林環境税及び森林環境譲与税は、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要ない地方財源を安定的に確保する観点から、国民が等しく負担を分かち合っており、我が国の森林を支える仕組みとして、昨年度から導入されました。

## ◆森林環境譲与税

森林環境税は、令和6年度から課税が始まりますが、森林環境譲与税は、令和元年度から市町村及び都道府県に対する譲与が始まりました。

譲与税の用途については、法令上、市町村が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用、都道府県が行う市町村による森林整備に対する支援等に関する費用に充てることとされています。

昨年度は、県内の市町村において、森林経営管理制度に基づく、経営管理権集積計画作成のための経営管理意向調査などが実施されています。

## ◆見直しの概要

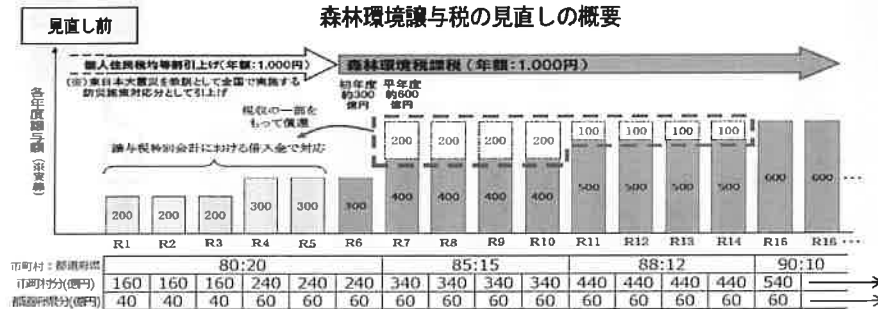
災害防止・国土保全機能強化等を

図る観点から、森林整備を一層推進するため、令和2年3月に、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の一部が改正されました。これまでに、市町村や県に対する譲与税の全額配分時期を令和15年としていますが、令和6年度に大幅に前倒し、令和2年度から令和5年度においても、大幅増額されることになりました。令和2年度の市町村への譲与額は、令和元年度の倍額が見込まれています。

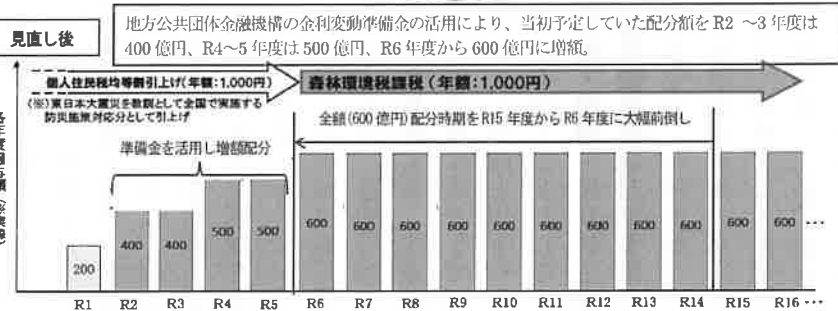
## ◆おわりに

県では、市町村の取り組みを支援

森林環境譲与税の見直しの概要



## 見直し後



森林環境譲与税の見直しに係る譲与額(配分額)の試算

(譲与基準)私有林人工林面積:林業従業者数:人口=5:2:3

年度	R1	R2~3	R4~5	R6~
配分割合(市町村:都道府県)※	80:20	85:15	88:12	90:10
全国 譲与総額(億円)	200	400	500	600

するため、山形県森林管理推進協議会の運営や研修会を実施するとともに、増額譲与の趣旨を踏まえ、市町村が実施する意向調査等の進捗が早まり、間伐等の森林整備の積極的な実施につながるよう、市町村を支援してまいります。

(県森林ノミクス推進課)

## “美しい森林の風景を守るために” 森林経営管理をサポートします。

- 市町村の森林・林業行政の体制支援。
- 資源量調査。
- 森林 GIS 等、システム整備。
- 森林経営計画作成促進の支援。
- 路網整備の助言・指導。
- 関係団体とのマッチング。
- 森林境界の明確化。
- 森林情報の収集及び整備。
- 森林サイクルのマネジメント。

一般社団法人 **山形森林調査協会**

〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字長面153番地の1  
TEL.0237-85-8233 FAX.0237-85-8233  
E-mail: yfi@kfa.biglobe.ne.jp

# 「意欲と能力のある林業経営者」等の公募・公表について

県では、「意欲と能力のある林業経営者」及び「意欲と能力のある林業経営者へと育成を図る林業経営体」（育成経営体）について令和元年11月と令和2年1月2月に2回の公募を行い、「意欲と能力のある林業経営者」として30事業体、「育成経営体」として9事業体を登録しました（下表）。

登録経営体の皆様には、森林経営管理法に基づく林業経営の担い手として期待されており、効率的かつ安定的な林業経営を目指すとともに、申請の際に設定していただいた目標の達成に向けて積極的な素材生産や主伐後の再造林等に取り組むことを期待します。

今年度も引き続き公募・公表を行うべく予定しています。申請の方法や時期、登録経営体の公表等は県森林ノミクス推進課のホームページ等でお知らせいたします。

<http://kkg2.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/140023/iyoku-nouryoku.html>

〔県森林ノミクス推進課〕

## 登録経営体一覧

令和2年3月31日時点

意欲と能力のある林業経営者				育成経営体	
1	温海町森林組合	11	北庄内森林組合	21	有限会社庄司林業
2	安楽城林産株式会社	12	株式会社佐藤工務	22	西置賜ふるさと森林組合
3	有限会社高菊林業	13	有限会社遠田林産	23	小国町森林組合
4	有限会社小関興業	14	荒生木材有限会社	24	米沢地方森林組合
5	株式会社北越マテリアル	15	最上広域森林組合	25	出羽庄内森林組合
6	株式会社荒正	16	真室川森林造成事業協同組合	26	八郷林業
7	上妻林業	17	マルカ林業株式会社	27	株式会社結城林業
8	北村山森林組合	18	株式会社もがみ木質エネルギー	28	株式会社旭林業
9	西村山地方森林組合	19	金山町森林組合	29	東根市森林組合
10	山形地方森林組合	20	有限会社高橋林業	30	合同会社イズミ

# 令和2年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業実施の際の留意事項について

## ◆はじめに

県では、本県の豊かな緑を県民共有の財産として健全な状態で未来に引継ぐため、地域の方々やNPO、企業の皆さんが自主的に取組む「森づくり活動」を支援する「山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業」を平成29年度から実施しております。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための取組みを行い、事業を実施して下さるようお願い致します。

## ◆おわりに

県内では、5月4日以降、新規の新型コロナウイルス感染者は確認されておきませんが、今後も「三つの密」を避ける、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いといった、「新しい生活様式」を実践しながら事業を実施して下さるようお願い致します。

なお、全国的又は広域的な人の移動が見込まれるものや参加者の把握が困難なものについては、中止を含めて慎重に検討して下さいます。

## ◆実施の際の留意事項

事業実施の際は、次に記載する事項に留意して下さい（5月末時点）。

① 適切な感染拡大防止策（発熱等の症状がある方の参加の自粛、3密の回避、手指の消毒、マスクの着用、室内の換気等）を講じてください。

② 事業開催の前後、休憩時間など交流の場で感染拡大リスクを高める可能性があることを踏まえ、交流等を極力控えるよう呼びかけて

〔県みどり自然課〕



みどりのページ

緑の募金感謝状の  
贈呈のしるし

公益社団法人国土緑化推進機構では、緑の募金運動の推進に多大な貢献をした個人や団体に対する表彰を行っています。このたび、緑の募金として多額の寄附を行った県内の3団体に感謝状が贈呈されました。

◆林野庁長官感謝状

山形県森林土木建設業協会

◆国土緑化推進機構理事長感謝状

北庄内森林組合

出羽庄内森林組合

山形県森林土木建設業協会は、募金奉仕組織として会員企業による企業募金と職場募金を毎年継続されており、また、募金を活用した植樹活



永井敏行会長へ感謝状を伝達

令和2年度緑化推進事業 交付決定一覧表

(単位:千円)

市町村	申請団体	助成額	市町村	申請団体	助成額
<b>①都市・農山村の環境緑化整備事業</b>			金山町	榎台地区公園保全会	66
天童市	奈良沢さくら公園管理委員会	170	金山町	羽場地区自治会	66
山辺町	畑谷区	210	金山町	安沢地区	59
中山町	柳沢(やんくさ)もりあげ隊	196	最上町	緑を愛する会	70
朝日町	大沼区	275	米沢市	北町共和会	37
尾花沢市	清流と山菜の里ほその村	210	米沢市	窪倉豊心会	64
舟形町	縄文里の会	248	米沢市	特定非営利活動法人斜平山保全活用連絡協議会	70
舟形町	長尾町内会	210	米沢市	芳泉町桜の会	49
米沢市	米沢市上郷コミュニティセンター管理運営委員会	210	米沢市	芳泉町町内会	68
米沢市	地縁団体万世教育振興会	210	米沢市	芳泉町直江堤公園維持管理組合	50
高畠町	飯森区会	300	米沢市	三沢花いっぱい運動推進協議会	49
高畠町	高安秋葉山緑化活動の会	210	米沢市	米沢市立第六中学校父母と教師の会	70
飯豊町	飯豊町東部地区活性化協議会	179	南陽市	岩部山三十三観音保存会	26
鶴岡市	小名部自治会	178	高畠町	ぬかのみ桜会	33
<b>②都市・農山村の環境緑化維持管理事業</b>			高畠町	友水会	70
山形市	館山会	53	長井市	岡鼠原のみ会	49
山形市	長町第九区町内会	70	白鷹町	鮎貝区	63
山形市	成安癒しの川(白川)を守る会	70	飯豊町	お伊勢堂里山再生協議会	70
山形市	山形グリーンサークル	56	飯豊町	上郷地区緑化推進協議会	53
天童市	上貫津町内会	32	飯豊町	手ノ子区協議会	50
天童市	立谷川の花さかじいさん	100	鶴岡市	温海温泉自治会	70
天童市	津山の自然を守る会	67	鶴岡市	あつみ湯けむり女子会	70
山辺町	大蕨棚田さくら公園設置管理運営委員会	61	鶴岡市	木野保自治会	56
山辺町	「さがみの里」竹遊会	70	鶴岡市	櫛引花と緑の会	50
山辺町	玉虫沼散策道能中峰を良くする会	49	鶴岡市	小菅野代自治会	70
山辺町	ヒメサユリを植える会	9	鶴岡市	鶴岡市温海第3地区自治会	70
中山町	天盃泉利用組合	70	鶴岡市	藤倉山ブナ林保存会	47
寒河江市	慈恩寺共有山林組合	63	鶴岡市	美原町町内会	70
西川町	石田町内会	45	鶴岡市	山五十川自治会	49
朝日町	大谷連合区	53	庄内町	あまるめさくら咲多会	42
朝日町	ひめさゆり愛好会	100	<b>③森林環境教育推進事業</b>		
尾花沢市	二ツ森観光開発促進委員会	70	山形市	新しい働き方コンソーシアム	100
新庄市	山形県林務職員村農同窓会	70	山形市	美しい山形・最上川フォーラム	100
金山町	有屋地域公民館連絡協議会	70	山形市	山形グリーンライフ女性の会	50
金山町	稲沢地区	56	山形市	山形県指導林業士会	100
金山町	入有屋地区	70	天童市	天童・不思議の森	60
金山町	壮樹会	56	小国町	ひだまり野外活動	70
金山町	楯山を愛する会	56	酒田市	万里の松原に親しむ会	56



みどりのページ

「源流の森」が、全国森林レクリエーション協会会長賞を受賞しました。

一般社団法人全国森林レクリエーション協会が主催する「第32回森林レクリエーション地域美しの森づくり活動コンクール」において、当財団が指定管理者となっている山形県源流の森で活動している「源流の森インタープリテーション協会」が、全国森林レクリエーション協会会長賞を受賞しました。

### 第32回森林レクリエーション地域美しの森づくり活動コンクールの表彰について

ボランティアで行う緑化活動などに助成する緑化推進事業は、今年度は3つの事業区分で募集を行い、昨年度を上回る多くの応募をいただきました。採択事業が右表のとおり決定しましたのでお知らせします。

### 令和2年度緑化推進事業助成金の交付決定について

動にも積極的に取組まれています。例年ですと、4月に開催している緑の募金街頭キャンペーン出発式において当財団より伝達していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策で出発式を中止したため、個別に伝達を行いました。



源流の森での活動の様子(森林の学校)

(公財)山形県みどり推進機構

このコンクールは、森林レクリエーションの振興を図り、森林レクリエーション活動が行われている地域の発展に寄与することを目的に、毎年実施されているものです。源流の森インタープリターの活動は、平成9年の源流の森開設に合わせてスタートし、翌平成10年4月に同協会が設立されました。以来、20年以上の長きにわたり、源流の森を訪れる皆さんに森の魅力や素晴らしさ、自然との楽しさを伝える活動を続けてこられました。同協会の活動は、源流の森における森林環境教育等の普及啓発に大きく貢献しています。当財団も指定管理者として、今後ますます同協会との連携を強め、活動の充実に努めてまいります。

## 緑の募金にご協力いただいた企業・団体のみなさま (R2. 4. 1~R2. 5. 31)

(山形県みどり推進機構取扱い分)

(株)アイタ工業、(株)アサヒ技術、(株)朝日測量設計事務所、(株)阿部林業、(有)荒井材木店、荒生木材(有)、(株)荒正、池田木材(株)、(株)榎本測量設計事務所、(有)遠田林産、(株)太田製材、(株)大山製材所、(株)沖田木材産業、(株)カキザキ、(株)春日測量設計、(株)菅野測量設計事務所、(株)北山建設、(株)工藤測量設計、(株)ザオー測量設計、(株)寒河江技術コンサルタント、(株)佐藤組、(株)佐藤工務、(有)佐藤測量設計事務所、(有)三英クラフト、(特養)山静寿、(株)三和技術コンサルタント、JA共済連山形、JA全農山形、JAやまがた、(株)下山製材、新庄信用金庫、菅原建設(株)、(株)鈴木久測量設計事務所、(株)スペースパーツ山形、全国健康保険協会山形支部、(株)大洋測量設計社、高橋林業、高橋林産、東北ウッドカッター(株)、(有)東北環境総合サービス、東北電力(株)山形支店、南陽ライオンズクラブ、(一社)日本自動車販売協会(連)、沼田建設(株)、農林中央金庫山形支店、(株)フィデア情報総研、山形県郷土館「文翔館」、(株)北桜林業、(株)北都測量設計、(株)本間工務社、(株)マイスター、村山ロータリークラブ、最上川土地改良区、(株)もがみ木質エネルギー、(株)最上振興、(株)矢作組、(株)山形銀行県庁支店、(一社)山形県医師会、(公社)山形県観光物産協会、(公社)山形県看護協会、(公財)山形県企業振興公社、山形県軽自動車協会、山形県後期高齢者医療広域連合、(公財)山形県国際交流協会、山形県(国保連)、(公財)山形県産業技術振興機構、山形県市長会、山形県市町村職員(共済)、山形県(社協)、山形県商工会(連)、山形県職業能力開発協会、(公社)山形県私立学校総連合会、山形県信用保証協会、(公財)山形県スポーツ協会、山形県中小企業団体中央会、山形県町村会、山形県土地改良事業団体(連)、(一社)山形県農業会議、(公財)山形県埋蔵文化財センター、(公財)山形県林業公社、(株)山形城南木材市場、米沢信用金庫、米沢中央ライオンズクラブ、米沢ライオンズクラブ、(株)渡会電気土木 (敬称略、五十音順)

ご協力ありがとうございました

## 林業への思いを胸に―5期生14人が入校

◇新型コロナウイルスの影響で休校

が続いていた農林大学校も、5月11日からようやく授業が始まりました。今回は、緊張しながらも元気に授業に取り組み1年生と、たくましく成長した2年生の様子をお伝えします。

## ○5期生14人が入校（1年生）

14人の内訳は男子13人、女子1人で、県外からは宮城県、福島県、栃木県から合わせて5人の学生が入校しました。林業経営学科を志望した動機は、小さい頃から自然が好きだった、手入れ不足の森林の現状を見て山形県の林業を担いたいと思った、里山を再生し自然と人間の共生を取り戻したい、など様々ですが、森林や林業、木材資源に対する思いは皆同じです。

授業が始まって間もない中、14人は次々と出てくる専門用語に戸惑いながらも、初めて見る資機材に興味を持ちながら、毎日、真剣に講義や実習に取り組んでいます。特にチェーンソーの基本操作実習で、重いチェーンソーを思い通りに操作できずに苦労している姿は、これまで毎年見てきた光景です。



チェーンソー基礎実習の合間に

林業経営学科で学ぶ分野は、森林経営をはじめ造林・育林や森林生態などの生物・環境系から木材やきのこのなどの林産系、チェーンソーや高性能林業機械などの機械系、測量など広範囲に及びます。また、林業は長い時間軸の中の森林動態を見据えた産業であり、多くの知見に基づく予測(prediction)―観察(monitoring)―評価の反映(feedback)が不可欠です。次世代の森林・林業を担う彼らには、安全作業はもとより、自然の法則を理解し、考え、判断する知識と技術を学んでもらいたいと思います。

## ○卒論・就活に奮闘中（2年生）

4月からの休校の影響により、当初予定していた資格講習や外部講師による講義が延期になるなど、授業計画が大幅に変更となりましたが、卒業論文調査や専門科目の学習は着々と進んでいます。

卒業論文調査としては、これまで、薪の乾燥調査のためのコナラの伐採からスギカミキリの生息調査、ツキノワグマによるスギ剥皮被害防除試験地の設定と個体把握のためのカメラトラップの設置、実習林における広葉樹二次林の更新試験地の設定等を行いました。また、スギ剥皮被害調査では、ツキノワグマが餌を摂る動画を捉えるなど、着実に調査を積み重ねています。さらに、最近では、事業体の協力のもと、地上レーザーを使った最新の技術に基づく森林調査も実施しています。

農林大学校における卒業論文調査では、チェーンソーや刈払機、林内作業車などの豊富な資機材を活用しながら、学生自身が伐採や刈払い作業等を行い調査地を設定するとともに調査に必要な試料を採取するなど、これまで取得した資格や実習で学んだ技術を駆使した作業が多いのも特長です。今後、十分な成果が得

られるよう、卒業計画に基づき、さらに詳細な調査を実施していく計画です。



地上レーザーによる計測

また、就職についても、それぞれの学生が希望する進路をめざし面接やインターンシップなどで頑張っているところでは、林業事業者等の皆様からは、学生の採用について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◇学科設立から5年目を迎え、林業経営学科はステップアップの年を迎えています。これからも引き続き皆様からのご指導をいただきながら「やまがた森林ノミクス」を支える次世代の後継者を育成していきます。

〔山形県立農林大学校〕



## 森の人紹介

西村山地方森林組合  
森林施業プランナー

鈴木 淳さん



森林施業  
プランナー  
として活躍  
する、西村  
山地方森林  
組合の鈴木

淳さんを紹介します。

鈴木さんは、朝日町生まれの朝日町育ちで、御実家は製材業を営んでいます。そのような環境で生まれ育ったことから、迷わず林業の世界に飛び込んだのかと思いきや、以前は製材業や林業には全く関心がなく、高校卒業後しばらくは、全く別の業種で働いていた経歴があります。

平成20年から森林組合で勤め始め、現在は、林産振興係長として、主に伐採現場で施行管理の業務を担当しています。森林施業プランナーの認定を受けて2年目になりますが、既に河北町や大江町の森林経営計画（計17杉）の策定に携わり、精力的に集約化施業に取り組んでいます。鈴木さんの丁寧な話しぶりは、計画を

策定する際の、森林所有者への説明会などで大いに役立っていると思われまふ。しかし、本人曰く「パソコンで図面を描いたりする作業が苦手です、先輩職員にお世話になりっぱなしです。もつと勉強しないと・・・。」と恐縮していました。

仕事でのモットーは、『現場をよく見ること。歩くこと。』で、現場に行くといつもあちこち歩きまわっているそうです。「林業は、自然が相手の仕事なので、現場によって条件が変わってくる。いろいろな現場を見ながら、もつと経験を積んで、地域林業の力になりたい。」と力強いコメントをいただきました。

また、最近感じることがは、「未だに木を伐ることが、悪いことのように思っている人もいます。森林整備を通して、山に関心を持ってもらえるようにしたい。また、子供たちが木に触れる機会を持ち、山や自然に興味を持ってもらいたい。」と、林業のPRも重要と考えています。

かつては山に関心のなかった鈴木さんも、今ではすっかり森の人です。

〔村山総合支庁森林整備課〕

## 森の人紹介

将来は森の伝道師？

岩山 武 司さん



米沢地方  
森林組合で  
採用3年目  
の岩山さん  
を紹介しま

す。

米沢市出身の岩山さん、高校時代は演劇部に入り演劇一筋だったそうで、その時は、特に林業に対して興味はなかったそうです。

高校卒業後は、就職することを考えていましたが、家族の勧めもあり進学を目指すことになり、学校の先生の勧めや、給付金もあることを知り、農林大学の林業経営学科に入学することに決めたそうです。

林業経営学科では、実習のみならず森林・林業の基礎知識を学びました。その中で、今一番役に立っているのが、チェーンソーの使い方だそうです。

実習で機械を軽くぶつけただけに、かなり機械が損傷したのを見て、「これが人であればどうなった

か」と思い、林業が危険な仕事であることを強く認識したそうです。

就職先は、インターシップの時から地元である米沢地方森林組合に決めたことのこと。

現在は、伐採を中心に測量などの業務を行っているそうで、最近は、フォワーダの練習をしているそうです。

同僚に岩山さんについて聞いたところ、頑張り屋で、落ち着いている。農林大学校出身ということもあり、知識や技術もあり仕事の飲み込みが早いとのことでした。

卒業論文で、子供達が森林に興味を持つってもらうにはどうしたらよいか、分かりやすく教える方法について書いていたので、将来は、演劇と絡めて子供たちに森林の大切さを伝えられたらと思うとのことでした。

物静かですが、芯の通った岩山さん、仕事終わりに家族でビールを飲むのが一番楽しいと笑顔で話しておられるのを見て、米沢地方森林組合での活躍はもちろん、将来は森の伝道師として、子供たちに森林の大切さを伝えて頂きたいと強く期待しております。

〔置賜総合支庁森林整備課〕

## 次第を担う若者による意見交換会

### ◆はじめに

村山地域には先進的な取組みをしている木材関係事業所が多々あり、新たな技術や木製品開発等の地域材利活用を進める下地があります。そこで、既存の概念にとらわれず新しい発想を持つ若手の経営者や技術者等に参集していただき、自由に意見を交える場として、「次代を担う若者による意見交換会」を開催しました。

### ◆意見交換会の概要

令和2年2月25日(火)に開催した第一回目の意見交換会には、素材生産、製材・市場、木材加工、バイオマス、デザイン等の幅広い分野から10名の若者が参加しました。また、山形大学東北創生研究所 所長 村松真氏からオブザーバーとしてご参加いただきました。

まず事務局から、村山地域は森林資源の約半数が利用期にあり、県住宅着工数の約6割を占める消費圏だが、流通している建築資材は乾燥施設が整備されている地域外産の木材が多いという現状と課題を説明しました。それを踏まえ、意見交換会を始めました。その中で「疑問点や



意見交換会の様子

連携、提案したいことを話し、自分たちの製品開発に繋げていきたい。」、「しっかりと目標・意義を持ち、地域に貢献できる会にしたい」等の意見がありました。

### ◆今年度の取組み予定

森林資源の循環利用を進めるため、意見交換会における企業間連携により、A材、特に大径材を活用した製品開発を目指しています。今後はアンケートで意見集約し、社会情勢を見ながら、新たな生活様式による意見交換会を実施する予定です。

〔村山総合支庁森林整備課〕

## 蔵王温泉木の街プロジェクト

西山杉の利活用による地域再生

### ◆はじめに

蔵王温泉街高湯通りを美しい温泉街らしい街並に再生するため、蔵王温泉観光協会、山形大学東北創生研究所、山形工科短期大学校、西山杉利活用推進コンソーシアムによるプロジェクトを平成30年度から実施しているをご紹介します。

### ◆令和元年度の取組

初年度はシャッターが下りている店舗の前面に西山杉を使用した格子戸をモデル的に設置しましたが、令和元年度は、その右側に昨年の3倍となる約10メートル分の格子戸を設置しました。設計は西山杉利活用推進コンソーシアムの鈴木悦郎氏が行



光沢があり色彩が良い  
西山杉を使用した木製格子戸

い、製作及び設置は山形工科短期大学の学生が行いました。木製格子戸は日本伝統の「匠の技」で造られており、職人の優れた技術を観光客等に披露する場ともなっています。

### ◆おわりに

光沢があり色彩が良い西山杉の特徴を生かした景観整備の取組みとなりました。また、山形工科短期大学の学生たちは、卒業制作として就職後に活かせる経験になりました。今後も西山杉の利活用推進に向け、蔵王温泉木の街プロジェクトに関係者と連携しながら取組んでいきます。

〔村山総合支庁森林整備課〕



未来の「匠の技」職人となる  
山形工科短期大学校学生

# 最上地域の平成30年災からの復旧について

## ◆災害の概要

平成30年の8月に入ってから、県内に梅雨全線が停滞し、日本海からの温かく湿った空気が流れ込んだ影響を受けて、最上・庄内では局地的な大雨に見舞われました。

特に、8月5日から6日にかけて戸沢村古口で366ミリの降水量を記録したほか、最上町瀬見でも48時間降水量が300ミリ以上にも達しました。また、15日から16日にかけて県内22市町村に大雨洪水注意報が発表される大雨が降り、さらに30日から降り始めた雨は最上町瀬見で200ミリ（72時間降水量）を超える豪雨となりました。

再三にわたる豪雨により、県では8月31日に最上地域の7市町村に対して、災害救助法を適用させ災害からの早期復旧に向けた対応を実施しました。

## ◆最上管内の被害状況について

度重なる豪雨により林地・治山施設の被害は、68箇所になり、被害額は5億5千万円となりました。林道の被害は、212箇所を数え、被害額は

3億3千万円。治山・林道をあわせた被害は、280箇所で約8億8千万円となり過去最高額となりました。また、最上管内の農林水産関係の被害は、水稲などの農作物をはじめ農地、林地、水産と多岐にわたり被害額は、あわせて約50億円にも及んでいます。



被災状況(戸沢村大字角川地内)

## ◆早期復旧に向けて

治山の災害復旧工事では、被害の大きかった戸沢村で災害関連緊急治山事業等を実施しています。



元屋敷林地荒廃防止施設災害復旧工事(戸沢村大字角川地内)

県単独災害関連緊急治山事業等を活用して新庄市、最上町、舟形町、真室川町、鮭川村、戸沢村で工事を実施しました。

林道施設の災害復旧工事では、管内全市町村において管理する林道の復旧工事を実施しています。

治山・林道の災害復旧の対応として、75箇所国庫・県単事業を実施し、総事業費は10億1千44万円に達しました。また、令和元年度末では、治山では、34箇所のうち3箇所が工事中ですが、令和2年10月末完成を目指して工事を行なっています。市町村が主に実施主体となる林道災害

復旧では、41箇所の復旧工事を実施しています。

## ◆おわりに

最上管内に大きな被害を及ぼした平成30年災の復旧率は、森林所有者や市町村、業界などの協力があって96%と高い復旧率となりました。治山工事の3箇所も年末に完了する予定です。近年、集中豪雨が頻繁に発生し、気象庁からは警報とともに、「過去最大級」との注意喚起が繰り返し発表されています。この度の災害復旧における経験を活かして、日頃から迅速に災害対応できるよう努めてまいります。

〔最上総合支庁森林整備課〕

## 治山・林道災害復旧事業の実施状況

事業名	種別	箇所	事業費(千円)
治山事業	国庫	10	752,536
	県単	24	118,823
林道事業	国庫	13	130,495
	県単	28	12,294
事業計	国庫	23	883,031
	県単	52	131,117
総事業費		75	1,014,148

## そこで、「源流の森」へ行ってみよう！

源流の森は、置賜地域の緑豊かな自然との触れ合いを通して、県民の「森林」への理解及び保健・休養の向上を目的に、最上川の源流部（飯豊町大字須郷 白川湖近く）に平成9年7月にオープンし、毎年約8万人の県民の皆様から利用いただいております。

例年、案内人による森林散策及び不可能と思われる課題への挑戦を通して参加者同士の信頼を深めるプロジェクトアドベンチャー等の常設プログラムや、小学生向け「夏の森探検」など、源流の森の豊かな自然や森林を活用して、人と森林との関わりを学ぶ各種体験活動を実施するところですが、今年は世界中に混乱をもたらした新型コロナウイルス感染症の影響で一部内容を変更して催しを開催しております。詳細は、源流の森事務所にお問い合わせください。（電話番号0238-771-2077）

こうした感染の機会を減らす取り組みによる、運動不足やストレスなどの解消に、御家族や気の合う仲間同士で、源流の森の緑豊かな自然と触れ合ってみませんか。

源流の森では、園内歩道及び芝生広場等、アウトドアで密閉・密集・密接の3密を避けて森林散策や森林浴など、豊かな自然を満喫できます。また、源流の森センター入口及びトイレには消毒液を配備し、皆様のお越しをお待ちしております。

なお、体調の優れない方は、ご自宅で療養いただくとともに、御来場の皆様も、新型コロナウイルス感染症予防に御協力願います。



スギ巨木への水径

〔置賜総合支庁森林整備課〕

## 「里山ソムリエ」の森 〜里山の新しい価値をデザイン〜

### ◆はじめに

東京から米沢市南原新町に移住された黒田三佳さんは、自宅裏の里山1100坪を購入し、素敵な暮らしをしています。

里山ソムリエとは、里山を人それぞれの感覚でデザインして自然と人間が仲良く暮らす活動です。

里山には役割があり、里山を守ることとは地域を守ること、街の暮らしは里山が無ければ成り立たない。

黒田さんは、誰もが里山を活用しし自由な発想で人と物と生活をつなぐ取組みを実践しています。

### ◆活動内容

地域の人たちと一緒に里山の折れた枝のカットなどを行っているほか、木材を活用し遊具や暮らしを豊かにするクラフトなどを製作しています。

また、里山から採れた山菜や裏庭で採れた野菜をみんなで料理し食べたり、茶会をしたりと、人と食をつなぐ取組みも行っています。

### ◆森のようちえん

平成25年から里山を子供たちに遊び場として提供しています。今年は

「みどり豊かな森林環境づくり推進事業」を活用し、森のようちえんの開催と指導者の育成を行います。

### 〈事業概要〉

- ・里山の樹木や植物と人の暮らしの関りについて学習
- ・森の中のリスク管理について学習
- ・里山の樹木植物カード図鑑及び子供に伝えたいストーリーの絵本化
- ・森の不思議探検オリエンテーリングや森の工作会の開催など



「里山ソムリエ」の森

### ◆おわりに

里山ソムリエを主宰する黒田三佳さんは、山形大学工学部の非常勤講師や人材育成アカデミーローズレールの代表も務められています。今後も里山の有効活用に向けた取組みに協力してまいります。

〔置賜総合支庁森林整備課〕

## 店舗・事務所も補助対象になりましたよ！ 山形県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業

### ◆はじめに

山形県では、住宅建築分野における県産木材の需要拡大を図るため、山形県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業を実施しています。この事業は、これまで一定の条件(別記)を満たす無垢材を使用した一般住宅に対して定額20万円を補助してきましたが、昨年度より対象施設が拡充され、非住宅の民間施設(店舗・事業所等)も対象となりました。

### ◆庄内管内では7件の申請

庄内管内でも、この新たに拡充された民間施設の補助金申請が、7件ありました。理美容店2件、ネイルサロン2件、司法書士事務所、楽器店、子ども園です。この中でも、規模が最も大きい施設が「ちわら菜



遊技室

の花こども園」です。この建物の建築工事は約3億6000万円、平屋建て延床面積1244平方メートル、大きくは職員室棟、保育室棟、遊戯室棟があります。使用された県産材は、鶴岡市と酒田市のスギ約188立方メートルです。今年4月の開所となっています。

このこども園で学び遊ぶ子供たちは、木の温もりを感じながら、健康やかに成長していくことと思います。

### ◆おわりに

当該事業は、今年度さらに木堀に類する外構施設、無垢材に加え集成材・合板等が補助対象となりました。この事業が契機となり、県内各地域で、建築住宅等で県産木材がより多く使用されることを期待します。

〔庄内総合支庁森林整備課〕

◆住宅建築物等の補助対象条件◆  
①自ら居住するため、県内に新築するもの

②県産木材が、延べ床面積1平方メートルにつき0・1立方メートルを乗じて算出した数量に対し100%以上を使用

## 森林管理道念珠関線 河内橋(かわうちぼし) 完成

### ◆はじめに

森林管理道念珠関線は、鶴岡市大岩川(起点)から鼠ヶ関(終点)を結ぶ林道として、延長1万780mの開設計画しております(施工・山形県、管理主体・鶴岡市)。

当該区域内には、開設済みの林道も複数路線存在しますが、それらは海岸沿いの国道7号線から羽越本線のアンダーパスを通過してアクセスする形となるため、搬出材を積載した大型トラックが通行できず、効率のな木材搬出の支障となっていました。そこで、南北に繋がる基幹的な林道の開設を目的とし、平成28年度より事業を実施しております。

### ◆早田地区内における橋梁架設

終点となる早田地区内においては、普通河川早田川に架橋する必要がある。平成30年度に橋台の施工、令和元年度に桁等の橋梁上部を施工しております(橋長12・44m、全幅員4m)。

当橋梁については、耕作放棄地となつている水田跡地へ橋台を設置するため軟弱地盤への対応や、道路構造上、桁下の余裕高が十分に取れない

いことから桁高を低く抑えるなど、現場条件をクリアする必要がある。したが、無事、令和2年5月に完成となりました。

### ◆おわりに

計画路線における利用区域面積994haのうち人工林は599haあり、人工林率は約61%となっております。当地域では木材生産に積極的に取り組んでいることもあり、林道開設に対する地域の皆さんの期待も高いことから、引き続き着実な開設工事の実施に努めて参ります。

〔庄内総合支庁森林整備課〕



河内橋 (鶴岡市早田地区内)

## 森林施業における

### 自走式草刈機使用の可能性

#### ◆はじめに

木材需要の増加に伴い県内民有人工林の主伐が進む中、森林の公益的機能の持続的発揮と森林資源の循環利用の構築には再造林の確実な実施が肝要なことから、「主伐・再造林」を推進するための様々な取り組みが行われています。その中で、暑い時期の炎天下での作業を強いられる下刈りは、労働負荷も大きく労働災害の発生率も高いことから、対策が必要な重要課題となっています。

このたび、下刈作業や主伐・間伐の際の刈払い作業の労働力軽減のため、林地で自走式草刈機が使用出来るのか、様々な作業環境を想定し、実地で走行試験を行ったので、その状況を報告します。

#### ◆自走式草刈機実地走行試験の状況

日時 6月11日10時～13時  
場所 金山町遊学の森周辺外  
参加者 県林務職員等約20名  
確認事項

- ① 斜面への対応
- ② 林地での下刈の実効性
- ③ 林床整理の実効性

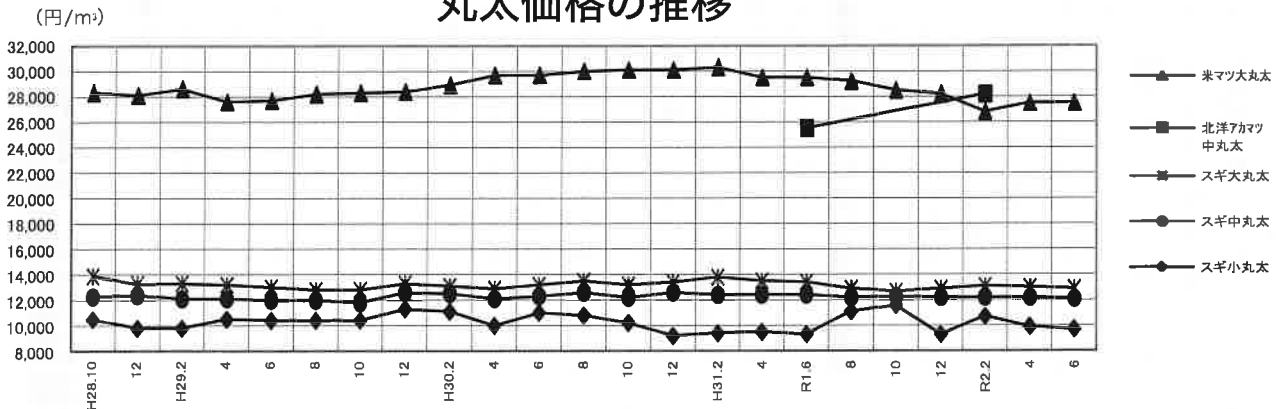


#### ◆参加者の意見と今後の展開

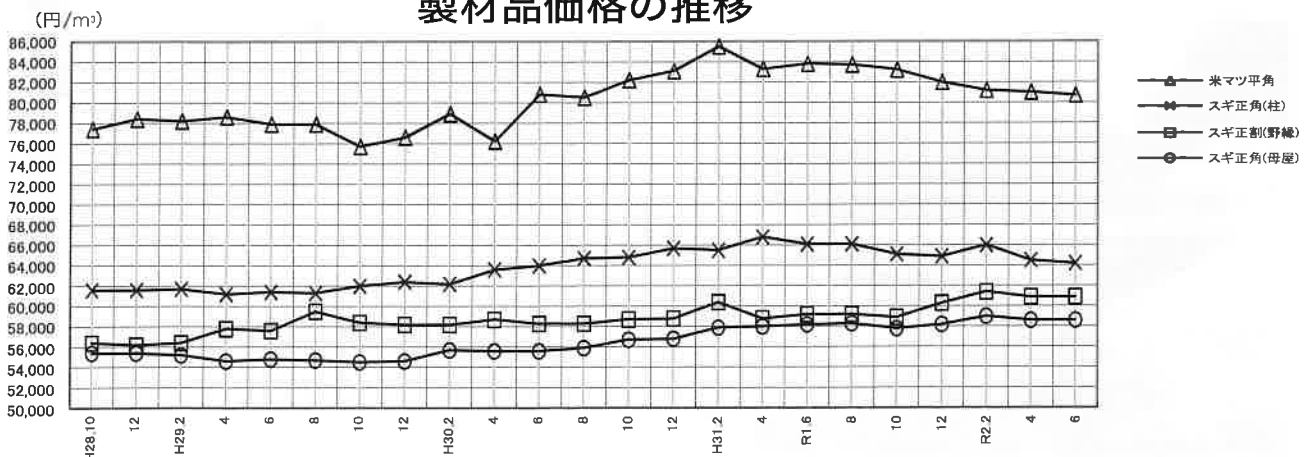
使用した機種は、傾斜40度近い斜面にも対応でき、オペレータが先行して切り株等の障害物を察知できれば下刈に十分利用可能ではとの意見が出された一方、凹凸のある林地斜面への適応性や耐久性への不安が指摘されました。今後センターでは、林業現場での実践の可能性についてさらに検討を行います。

〔森林研究研修センター〕

### 丸太価格の推移



### 製材品価格の推移





川西町洲島にある県内最大級のサイカチの巨樹。サイカチのある小沼（おぬま）家は伊達家に仕える武士であったが、伊達氏が岩出山城に移封されたとき随わず、この地に土着した。このサイカチは、武士であったところに「勝」にちなんで植えられたという伝承がある。同様の言い伝えは岩手県内のサイカチの巨樹にも伝えられている。サイカチは、莢（さや）にサポニンを多く含み古来より洗剤として利用されてきた有用樹木で、城郭に植えられることが多かった。山形市の霞城公園にもサイカチの巨樹が何本かあり、このコーナーで紹介したことがある。

昭和62年4月27日川西町の天然記念物に指定。目通り幹周6m、枝張り17m、樹高15m、主幹は枯損しているが堂々たる巨樹である。（県森林協会）

## 山形県の古木・名木129

# すのしま 洲島の サイカチ

川西町大字洲島

（案内略図）



外観

完成年度：2018年度

延床面積：4,393㎡

構造：2階建て

客室棟：木造2階建て（耐火構造接続部のみRC）

共用棟：混構造2階建（RC、鉄骨）

本号の表紙写真キッズドームソライとここに紹介するショウナイホテルスイデンテラスは、ともに建築界のノーベル賞とも言われるアメリカのブリツカー賞を受賞した建築家の坂茂氏の設計。キッズドームソライの天井の集成材は南陽市と山辺町のカラマツ材が使われている。ホテルの客室棟は基礎やコアの部分以外はすべて木造で、田園風景と調和し、水田に浮かぶように建っている。ロビーは折板（せつばん）構造と呼ばれる作りで、極力柱を使用しない吹き抜けの大空間を実現している。

## 公共木造施設 92

### ヤマガタデザイン株式会社 ショウナイホテル スイデンテラス

鶴岡市北京田字下鳥ノ巣23-1



折板構造

# 森林協会会長交代

## のお知らせ

### 退任の挨拶

細野 武司

今日まで7年の長きにわたり、皆様方からは暖かいご支援、ご協力をいただきましたこと心から御礼申し上げます。

この間林業・木材産業は大きく様変りをいたしました。育てる林業から使う林業へ転換の中で、県が一つとなって「やまがた森林ノミクス」への取り組みが進められ、県内木材需要も大幅に増えて出荷量は約51万m<sup>3</sup>に到達するまでになりました。

在任中は、一段階上の業界体質を目指して、さらなる団結と他県に負けない競争力の強化を図るべく努力をいたしました。十分な成果を残すことができずに退任の時が来てしまいました。

これからも業界は成長産業を目指して日々努力を重ねていくことになると思います。森林管理制度、再造林支援機構など持続的な資源管理の仕組みも整いました。

山形県の林業・木材産業の益々の発展と関係者の皆様方のご健勝を祈念し、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

### 新任の挨拶

今井 敏

この度、細野武司前会長理事のあとを引継ぎ、山形県森林協会の会長理事に就任いたしました。

山形県では、森林資源を活用し地域活性化を図る「やまがた森林ノミクス」に取り組んでおり、県産木材の生産増大や利用拡大（公共建築物木造化率全国一位）、人材育成など、数々の成果を上げています。今後、「やまがた森林ノミクス」をより一層推進していくためには、森林・林業・木材産業関係者の連携協力が最も重要と考えています。

山形県森林協会は県・市町村・林業関係団体等を会員とする歴史ある団体であり、行政と業界の要の位置にあることを認識しながら、山形県の森林・林業・木材産業の発展に貢献したいと考えております。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



今井 敏 新会長

## 土砂災害を防止・軽減するには「治山施設」が必要です 森林を整備・利活用するには「林道施設」が必要です

会長	新庄支部長	永井 敏行	永井建設(株)	理事	西村山支部長	佐藤 欣治	大東建設(株)
副会長	置賜支部長	那須 正	那須建設(株)	理事	北村山支部長	大山 圭介	大山建設(株)
副会長	庄内支部長	五十嵐久廣	鶴岡建設(株)	監事	東南村山支部	志田 賢一	(株)志田建設
理事	東南村山支部長	荒井 孝直	(株)山形組	監事	西村山支部	大泉 雅裕	(株)大泉組

### 山形県森林土木建設業協会

◇事務所:山形市あさひ町16-21

TEL(023)632-3893 FAX(023)632-5454 E-mail: info@y-sinrin.jp

### 受講生募集中

## 木材加工用機械作業主任者技能講習会を開催します!

製材工場(丸のこ盤、帯のこ盤、かんな盤等5台以上設置。帯のこ盤に自動送材車付き帯のこが含まれる場合は3台以上対象)は「木材加工用機械作業主任者」の配置が義務づけられています。欠員など主任者のいない事業所は受講してください。

受講要件:木材加工用機械による木材加工作業に3年以上従事した経験を有するもの。

開催日時:令和2年9月9日(水)・10日(木) 8:30~17:30

場 所:山形県森林研究研修センター 研修館 (寒河江市大字寒河江丙2707)

お問い合わせ(申込先)〒990-2473 山形市松栄1-5-41

林業・木材製造業労働災害防止協会山形県支部

TEL:023-666-4810 FAX:023-666-4811

